

射撃手部

近畿高等学校秋季ライフル射撃競技選手権大会が、11月19日(日)に大阪府能勢町国体記念スポーツセンターライフル射撃場で開催されました。

チームライフルの部では、2年川端基(芦屋市立潮見中)が、ファイナルに進出し、6位に入賞しました。

ファイナルには、本選の上位8位まで進出することができません。

ファイナルでは、5発を2回繰り返し順位を入れ替えていき、1発を2回繰り返し最下位を決定。これを繰り返し、最後に1位と2位の選手2名で競い、優勝が決まります。

17位に1年小東七海(神戸市立住吉中)、18位に中川裕一郎(同吉田中)でした。

チームピストルに出場した選手は3名。1年中澤達也(神戸市立渚中)が7位に入賞し、2年好井祐貴(西宮市立瓦木中)が9位、2年濱田智朗(神戸市立住吉中)が11位という成績でした。

オリンピック三連覇の

野村忠宏氏 来校

11月29日(水)に、アトランタ、シドニー、アテネのオリンピック3大会で、柔道史上初、また全競技を通じてアジア人初となる三連覇を達成された野村忠宏氏をお迎えして、講演会と実技指導が行われました。



講演では、柔道を始めた幼少期のことから、中学では初戦で女子に負けたこと、天才といわれる人でも、実は人の何倍もの努力を積み重ねて達成できた三連覇であったことや、度重なる大怪我から復活してきた過程、さらには満身創痍の状態でありながら、40歳まで現役を貫き通されたことなどをお話してくださいました。

「今やるべきことを理解して全力を尽くせ」「努力すれば必ず報われる」といったことを、様々な試練を乗り越えてこられた柔道人生を通して、語ってくださいました。

講演の最後では、ご自身の座右の銘である「執念」を染め抜いた旗をプレゼントしていただき、全校生徒と一緒に写真撮影をしてくださいました。

講演後の柔道の実技指導では、柔道部員相手に、「なるほど」「さすが」といった技の数々をご指導いただくことができました。

た。

クリスマスツリー

12月に入ると、すぐに2学期末考査、そして冬休み。街にはクリスマスソングが流れています。



本校でもクリスマスツリーの雰囲気をと、玄関と食堂にクリスマスツリーを飾りました。

クリスマスツリーの発祥の地は、現在のフランスだ。知っているか？そこから世界中に広がっていききました。

アメリカでも、当初は異教徒の文化だとして、反感があったようです。我が国では、抵抗感なく受け入れて楽しんでいきます。

ちょっと一言 年の変わる年末年始を1年の「節目」といいます。人は、この「節目」を大切にしてきました。この「節目」は、木材、特に竹の節をイメージした言葉のようです。竹は中が空洞であるにもかかわらず、強風にあおられても折れないのは、節のおかげなのです。「節目」には、年末年始のように必ず訪れる節目もありますが、各自の考えや行動によって起こる「挫折や成功、喜びや悲しみ」などとともに訪れる人生の「節目」もあります。どの「節目」も大切にし、慎重に乗り越えていく必要があります。「節」から次の「節」への間は、真っ直ぐに勢いよく伸びるチャンスなのです。よい年を!